

刈谷市刈谷駅前商店街振興組合(刈谷市) 【代表者:理事長 杉浦幸夫】

キャッチフレーズ

グルメ街宣言のまち

活性化モデル商店街としてのモデル性

市の玄関口に位置するグルメ街として、昼も夜も歩いて楽しい健全な飲食街、歓楽街を目指す交流型商店街

商店街の将来ビジョン

刈谷市刈谷駅前商店街周辺はJR刈谷駅や名鉄三河線刈谷駅が位置する市の玄関口である。また、駅周辺にはいくつかの大企業がその本社を置くこともあって、多くの人が通勤で利用する。こうした地域の特性から、本商店街には飲食店・居酒屋・スナックが多いが、その立地の良さを生かしているとは言えない状況である。この地域が健全に発展していくためには、更なる賑わいの創出や、安心して歩ける環境づくりが必要不可欠である。こうした地域の課題を踏まえ、こだわりを持った飲食店をアピールすることで新たな賑わいを創出し、増加している来訪者を商店街の顧客として取り込むことにより、グルメ街宣言のまちにふさわしい楽しめる商店街を目指す。

1 商店街の中の逸品をPR

「スナック・居酒屋はしご事業」によって県外からの来訪者にも商店街の店に親しんでもらい、商店街全体をグルメ街としてアピールすることにより、イメージアップを図る。

2 昼も夜も歩いて楽しい商店街づくり

昼は市民、一般店舗、飲食店、風俗店、行政が協働して、花いっぱい運動、一斉清掃を行い、清潔で美しい街を目指す。また、夜は風俗店の協力を得て、好ましくない看板の撤去を行ったり、地元大学生との連携によるイルミネーション事業を開催し、健全で楽しい商店街づくりを行う。

3 環境にやさしい商店街づくり

地元企業、住民、商店街が協力して環境対策事業(廃油処理、国内の間伐材を原料とする割り箸の積極的な利用等)に取り組み、環境にやさしい商店街を目指す。

具体的に取組む事業内容

スナック・居酒屋はしご事業(20年度～22年度)

一晩でスナックや居酒屋を3店舗ほど利用できるようにしたチケットを商店街やビジネスホテル等で販売し、来訪者に商店街のスナック等を気軽に体験してもらい、PRと利用促進につなげる。

アクアモール・イルミネーション事業(20年度～22年度)

多くの飲食店が集まるこの地域の夜の賑わいを創出するため、年末年始にかけて、地区の中心にあるアクアモール(小川のせせらぎのある遊歩道)沿いを、地元の大学と連携し、周辺店舗、企業、市民の参加を得てイルミネーションを作る。

まちづくり協定策定啓発事業(20年度)

「歩いて楽しいまち」「グルメ街宣言のまち」の実現のため、地元自治会、刈谷市刈谷駅前商店街振興組合、風俗店等が新たに新店を計画する事業者との間で景観作りや清掃活動等に関するルールを締結する。